

立川の統計情報を調べる

立川市図書館 2020.7

最近の統計を調べるには

作戦その1：総合統計を当たってみる。

- 『統計年報』（立川市、分類：M-2-10）
第1号〔1964（昭和39）年刊〕～毎年
—立川市各課の統計をまとめた総合統計集。立川市ホームページでも公開。
- 『東京都統計年鑑』（東京都、分類：M-2-00）
第4回〔1952（昭和27）年〕～毎年（欠号あり）
—都内各自治体の統計をまとめた総合統計集
- 『多摩地域データブック』（東京市町村自治調査会、分類：M-2-02）
1994（平成6）年版～毎年（欠号あり）
—多摩地域自治体の主要統計表
- 『統計でみる市区町村のすがた』（総務省統計局、分類：R351）
2000（平成12）年版～毎年
—日本全国の市区町村の主要統計集

作戦その2：各分野の統計書を探してみる。

- ・ 上記『統計年報』に含まれない統計や、より項目が細かい統計がある。
- ・ タイトルに「統計」という言葉は入らないことが多い。

例 人口について

- 『世帯と人口』（立川市、分類：M-5-10） 1972（昭和47）年版～毎年
—その年の世帯数・人口について細かく分類された統計のほか江戸期からの世帯・人口の推移も載っている。立川市ホームページでも公開。
- 『国勢調査 東京都区市町村町丁別報告』（東京都、分類 M-6-00）
1965（昭和40）年版～5年おき
—国勢調査報告のうち東京都分について各自治体町丁レベルで記載したもの

例 ごみについて

- 『清掃事業年報』（立川市、分類：R-4-10） 1986（昭和61）年～毎年
- 『多摩地域ごみ実態調査』（東京市町村自治調査会、分類：R-4-02）
1992（平成4）年度版～毎年
—多摩地域の各自治体についての統計。比較が容易

作戦その3：事務報告書を調べる。

各課管掌事務について単年での統計数値あり。前記『統計年報』に含まれない統計や、より項目が細かい統計がある。2002（平成14）年度から、『決算説明資料』の中の一項目となっている。

- 『事務説明書』（立川市、分類：G-3-10）1961（昭和36）年、1962（昭和37）年
- 『事務報告書』（立川市、分類：G-3-10）
1963（昭和38）年～2001（平成13）年、1942（昭和27）年複製版
- 『決算説明資料』（立川市、分類：I-3-10）2002（平成14）年～

『統計年報』以前の古い統計を調べるには

当時の資料をあたる

- 『立川町勢一覧 1932年11月（複製版）』（立川町、分類：G-6-10）
—1932（昭和7）年当時の人口、産業、教育等各分野での統計
- 『立川町史概観』（平賀敏弘、1936、分類：B-1-10）
—1936（昭和11）年の立川町の各分野での統計。分野によってはその前後の年の数値もあり。
- 『砂川町の葉 1954年10月（複製版）』（砂川町、分類：G-6-10）
—1954（昭和29）年の砂川町の各分野での統計。分野によってはその数年前からの数値もあり。
- 『砂川の歴史』（砂川町、1963、分類：B-1-10）
—砂川町の通史。所々に統計数値あり。（主に明治時代以降）
- 『立川市勢要覧』（立川市、分類：G-6-10）
—1950（昭和25）年から1999（平成11）年まで。欠号が多い。その年の各分野の統計あり。年代の古いものは、市内の商店、会社一覧の記載もあり。
- 『立川市教育資料 第1集』（青木義雄、立川市、1957、分類：T-2-10）
—学校の社会科教材としてまとめられたものだが、地域の研究資料として充実している。各分野での昭和20年代後半の統計あり。分野によっては明治・大正時代からの数値もあり。

立川市中央図書館の地域・行政資料の分類は

次のように分野ごとに分類（大分類）されています。タイトルから検索できないときでも、この分類によって資料の配架位置や内容について大体的見当をつけることができます。（さらに各分野で細目・地理区分が設けられています。）

A：総記 B：歴史 C：地理・文化財・伝記 D：民俗・宗教 F：議会 G：行政・地方自
I：財政 J：法律 K：経済 L：産業 M：統計 N：社会・生活 O：労働 P：社会福祉
Q：医療・保健衛生 R：都市問題 S：公害・災害 T：教育 U：文化施設 V：自然科学
W：特別コレクション